



つる み ひろ ゆき
鶴見 博之

生年月 1982年9月静岡県生まれ
最終学歴 2009年早稲田大学大学院
修士課程修了
業務履歴 2009年大成建設(株) 入社
現在、本社設計本部
プロジェクトアーキテクト

●担当した主なプロジェクト

2012年 銀座3丁目Dビル
2013年 丸本組本社ビル
2016年 カネカ未来創造館
2017年～吉城園周辺地区保存管理・
活用事業

■青年技術者のことば

「+αの要素による最適解を超える
建築の創出」
を目指し、より良い建築にするに
はどうすればよいかということ
を常に模索しながら設計を行って
います。
私は建築を作り上げていく上
では、その建築に関わる人との対話
がとても重要だと考えています。
様々な制約・要因・問題点などを
クライアントやチームメンバーを
はじめいろいろな人との対話を重
ね一つ一つ紐解きながらバランス
良くコーディネートし建築を組み
立てていくことが、出来上がった
ときに皆に喜んで頂けるすばら
しい建築を創りあげていく上では大
切だと考えています。
また、ただコーディネートだけで
終わるのではなく、その建築なら
では+αのテーマ性となる要素
を何かしらその建築に付加するこ
とがその建築の質を上げると共に
作品性を上げるためには重要だと
考えています。それは小さな+α
のテーマでも良いと思いますが、
新しいことや他ではあまりやられ
ていないことなどを考え、常に挑
戦していきたいと思っています。

■すいせん者

平井浩之
大成建設(株) 関西支店 設計部
設計部長



銀座3丁目Dビル

銀座の伝統的なイメージを印象付ける3
層構成の影の深いデザインとし、アーキ
コンやリン酸処理SCWなど構成素材自体
が仕上となり永続的なイメージを与える
マテリアルの選定により、銀座に相応し
いオフィスビルを追求した計画である。



丸本組本社ビル

東日本大震災により被災した会社の本社
ビルの計画である。『地域に根差した
防災拠点ビル=ACP (Area Continuity
Planning) Building』のコンセプトを掲げ
自社の事業継続だけでなく、地域の災害
拠点ともなるビルを追求した。



カネカ未来創造館

約30年前に竣工した宿泊機能付きの研修
施設の改修・増築の計画である。有機EL
照明をはじめ、屋根や壁面に太陽光パネ
ルを設置するなど、カネカの様々な最新
技術を搭載することで既存建物との調和
と最新技術の融合を追求した。



吉城園周辺地区保存管理・活用事業

奈良公園内に位置し歴史的にも価値の高
い旧県知事公舎や吉城園を含む敷地にホ
テルを計画するプロジェクトである。既
存建物の有効利用や名勝の価値を最大限
に高めることで新たな観光拠点となる質
の高い建築を目指し設計を進めている。

